

VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2.1 リリース ノート

 |  フィードバック

 共有

 更新日 2020年10月30日

VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2.1 | 2020 年 10 月 29 日 | ビルド 17078491 | [ダウンロード](#)

VMware vRealize Orchestrator 8.2 Appliance | 2020 年 10 月 6 日 | ビルド16995073 | [リリース ノート](#)

VMware Site Recovery Manager 8.2.1 | 2020 年 10 月 29 日 | ビルド 17078491 | [リリース ノート](#)

VMware Site Recovery Manager 8.2.1 Virtual Appliance | 2020 年 10 月 29 日 | ビルド 17078489 | [リリース ノート](#)

本リリース ノートに対する追加情報およびアップデート情報を適宜確認してください。

リリース ノートの概要

これらのリリース ノートの内容は次のとおりです。

- [VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2.1 の新機能](#)
- [VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2.1 について](#)
- [インストールとアップグレード](#)
- [ワークフロー例](#)
- [注意と制限](#)
- [利用可能なパッチ リリース](#)
- [既知の問題](#)

VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2.1 の新機能

VMware vRealize Orchestrator Plug-in for VMware Site Recovery Manager 8.2.1 は、バグ修正とセキュリティ修正を提供します。

VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2.1 について

VMware vRealize Orchestrator Plug-in for VMware Site Recovery Manager を使用すると、Site Recovery Manager の管理者は Orchestrator の堅牢なワークフロー自動化プラットフォームを拡張することで、Site Recovery Manager インフラストラクチャの管理を合理化できます。ワークフローの作成には、Orchestrator クライアントのワークフロー エディタでドラッグ アンド ドロップ機能を使用します。Orchestrator では、このプラグインを使用して、Site Recovery Manager および Site Recovery Manager API の機能にアクセスします。事前ビルドされたワークフローが含まれているため、カスタム ワークフローの作成が簡素化されます。

インストールとアップグレード

Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager ソフトウェアは、Orchestrator のアプリケーション ファイルとして配布されます。

Orchestrator Plug-in for Site Recovery Manager のインストールは、必ず vRealize Orchestrator のインストールと構成が完了してから行ってください。詳細については、『VMware vRealize Orchestrator 8.2 のインストールおよび構成』ドキュメントを参照してください。

Orchestrator Plug-in for Site Recovery Manager を VMware vRealize Orchestrator 8.2 にインストールする方法の詳細については、VMware vRealize Orchestrator 8.2 のドキュメントにある「vRealize Orchestrator Plug-in のインストールまたはアップデート」のトピックを参照してください。

Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager をインストールしたら、Site Recovery Manager サイト上で vRealize Orchestrator インスタンスと vCenter Server インスタンスの接続を構成する必要があります。vCenter Server との接続を構成する方法については、VMware vRealize Orchestrator 8.2 のドキュメントを参照してください。

Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager のインストールが完了したら、次の手順に従って、vSphere Web Client で Site Recovery Manager ワークフローを確認できます。

- vSphere Web Client で **[vRealize Orchestrator] > [Workflows（ワークフロー）]** ビューに移動します。
- 階層を展開して、**[vRO Servers（vRO サーバ）] > [vco_server] > [Library（ライブラリ）] > SRM** フォルダに移動します。

Site Recovery Manager ワークフローを実行する前に、**[Library（ライブラリ）] > [SRM] > [Configuration（構成）]** を選択し、次

Site Recovery Manager を操作するためのプラグインを構成する必要があります。

2. リモートサイトの構成
- ワークフローを実行します。
3. リモートサイトへのログイン
- ワークフローを実行します。

リモート サイトの Site Recovery Manager にログインするには、Orchestrator クライアント セッションごとにリモート サイトへのログイン ワークフローを実行する必要があります。Orchestrator クライアントからログアウトすると、Orchestrator は、自動的に Site Recovery Manager からログアウトします。

Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager 8.2.x をアップグレードするには、8.2.x バージョンのプラグインをアンインストールしてから 8.2.1 バージョンをインストールします。

Site Recovery Manager Plug-In をアンインストールする方法の詳細については、『*VMware vRealize Orchestrator* のインストールと構成』ドキュメントの「プラグインのアンインストール」のトピックおよび <https://kb.vmware.com/kb/2064575> のナレッジベースの記事「Uninstalling a plug-in from VMware vRealize Orchestrator 5.5.x, 6.0.x, and 7.x」を参照してください。

ワークフロー例

Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager には、次のようなワークフロー例が記載されており、Orchestrator を用いた Site Recovery Manager の自動化の方法を確認できます。

- 仮想マシンの作成、保護：
 - i. 仮想マシンを作成します。
 - ii. この仮想マシンを既存の保護グループに追加します。
- アレイベースの保護 (ABR) グループの作成、既存の仮想マシンの保護、リカバリ プランの追加：
 - i. ABR グループを作成します。
 - ii. 特定のデータストアに含まれる仮想マシンを保護するため、このデータストアを保護グループに追加します。
 - iii. 新しい保護グループを既存のリカバリ プランに追加します。

注意と制限

保護サイトが利用できない場合、次のアクションを実行する際に vRealize Orchestrator ワークフローは使用できませんが、代わりに Site Recovery Manager のユーザー インターフェイスを使用できます。

- リカバリ プランの作成、または仮想マシンのリカバリ設定の変更。
- リカバリ プランへのテスト ネットワーク マッピングの追加または削除。
- 既存のリカバリ プランへの保護グループの追加または削除。

既知の問題

- NEW : vRealize Orchestrator 8.0.1、vRealize Orchestrator 8.1、または vRealize Orchestrator 8.1 パッチ 1 を使用すると、Site Recovery Manager Plug-In でローカル サイトを構成できない**

vRealize Orchestrator 8.0.1、vRealize Orchestrator 8.1、または vRealize Orchestrator 8.1 パッチ 1 を vRealize Automation 認証で使用する場合、Site Recovery Manager Plug-In でローカル サイトを構成することはできません。次のエラーが表示され、ワークフローが失敗します。 **「ReferenceError: 「SRMPPluginConfig」が定義されていません。」**

回避策：vRealize Orchestrator をバージョン 8.1 パッチ 2 にアップグレードします。
- N:1 共有リカバリ サイト構成内のすべてのサイトに対してユーザーが権限を持っていない場合、vRealize Orchestrator インベントリに Site Recovery Manager サイトが一切表示されない**

1 つの vCenter Server インスタンスに対して、複数の Site Recovery Manager インスタンスを配置できます。すべての Site Recovery Manager インスタンスに対して権限を持っていないユーザーがローカル サイトの構成ワークフローを実行すると、vRealize Orchestrator インベントリに Site Recovery Manager サイトが一切表示されません。ユーザーが権限を持っている Site Recovery Manager サイトも表示されません。

回避策：すべての Site Recovery Manager インスタンスに対して権限を持っているユーザーが、ローカル サイトの構成ワークフローを実行します。
- Site Recovery Manager インスタンスを vRealize Orchestrator に追加した後にペアリングすると、そのインスタンスに対するリモート サイトの構成ワークフローの実行が失敗する**

ペアリングされていない Site Recovery Manager を vRealize Orchestrator インベントリに追加し、その後ペアリングした場合、リモート サイトの構成ワークフローを実行すると失敗します。

回避策：vRealize Orchestrator サーバを再起動します。
- ローカル サイトの構成、ローカル サイトの削除、またはリモート サイトの構成ワークフローを実行すると、リモート サイトに対する既存のセッションが無効となる**

ローカル サイトの構成、ローカル サイトの削除、またはリモート サイトの構成ワークフローを実行すると、ローカル サイトとリモート サイトの間に確立されていたセッションが無効となります。

回避策：リモート サイトに再度ログインします。
- Server.findAllForType(string type, string query) メソッドを呼び出すとエラーが発生する**

タイプ名のみを使用してのオブジェクト検索はできません。type 引数のみを **Server.findAllForType(string type, string query)** メソッドに渡すと、次のエラーが発生します：**Unable to execute 'fetchAll' for type : ... : 'java.lang.NullPointerException'.**

回避策：

`Server.findAllForType(string type, string query)` メソッドを呼び出す場合は、オプションの `query` 引数を渡す必要があります。

例：`x = Server.findAllForType(type, "");`。



企業情報

VMware について

エグゼクティブ マネジメント チーム

自社環境における VMware 製品の活用

ニュースと記事

投資家向け情報

お客様事例

ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン

環境と社会への貢献、ガバナンス

VMware の AI

採用情報

ブログ

コミュニティ

買収により合併した企業

オフィス所在地

VMware Cloud Trust Center

COVID-19 関連リソース

サポート

VMware Customer Connect

サポート ポリシー

製品ドキュメント

互換性ガイド

利用条件

ハンズオン ラボと製品のご試用


 YouTube

 Facebook

 Instagram

 Blog

 VMware User Group

 お問い合わせ

Copyright © 2005-2024 Broadcom. All Rights Reserved. Broadcom は Broadcom Inc. および/または その子会社を指します。

[利用条件](#)

[プライバシー](#)

[アクセシビリティ](#)

[商標](#)

[用語集](#)

[ヘルプ](#)

[フィードバック](#)